

2024年2月15日

## 吸収分割に係る事前開示書類

(吸収分割会社：会社法第782条第1項および会社法施行規則第183条に基づく開示事項  
吸収分割承継会社：会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条に基づく開示事項)

SBテクノロジー株式会社  
代表取締役 阿多 親市

フォントワークス株式会社  
代表取締役 原田 愛

SBテクノロジー株式会社（以下「SBテクノロジー」または「分割会社」という）およびフォントワークス株式会社（以下「フォントワークス」または「承継会社」という）は、2024年1月31日付で吸収分割契約を締結し、効力発生日を2024年4月1日として、SBテクノロジーが営むフォントプラス事業に関して有する権利義務をフォントワークスに承継させる吸収分割（以下「本件会社分割」という）を行うことにいたしました。

本件会社分割に関する会社法第782条第1項および会社法施行規則第183条ならびに会社法第794条第1項および会社法施行規則第192条に基づく開示事項は、以下の通りです。

### 1. 吸収分割契約の内容

【別添1】の通りです。

### 2. 分割対価の定め相当性に関する事項

本件会社分割に際し、承継会社は分割会社に対して本件承継対象権利義務に代わる金銭等の対価を交付しません。当該対価については、本件事業の業績並びに本件事業に属する資産および負債の状況を総合的に勘案し、分割会社および承継会社との間で十分に協議のうえ決定したものであり、対価を交付しないことは相当であると考えております。

### 3. 会社法第758条第8号に関する事項

該当事項はありません。

### 4. 本件会社分割に際して吸収分割会社の新株予約権者に交付する新株予約権に関する事

項についての定め相当性に関する事項  
該当事項はありません。

5. 吸収分割承継会社に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

【別添2】の通りです。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

【別添3】の通りです。

(3) 最終事業年度末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の重要な後発事象の内容

①承継会社は、2023年8月31日を効力発生日として、承継会社の普通株式1株につき金1,875万円（総額3,750百万円）の剰余金の配当を行いました。

②承継会社は、2023年8月31日に、承継会社の保有する、承継会社の子会社である株式会社インテグラル・ヴィジョン・フラフィックス（所在地：東京都新宿区西新宿八丁目5番2号）の全株式540株を一株当たり1円でSBテクノロジー株式会社に譲渡いたしました。

③承継会社は、配当実施に伴う承継会社の必要運転資金を調達するため、2023年8月25日付で株式会社みずほ銀行との間で金銭消費貸借契約を締結し、同契約に基づき借入金利年率1.05%にて、借入日を2023年8月30日、最終返済期日を2023年9月7日とし、連帯保証人を分割会社とする1億円の借入を実施いたしました。

④承継会社は、2023年7月24日を効力発生日として、以下の内容で、承継会社の無形資産等を剰余金として配当いたしました。

(i) 配当財産の種類及び帳簿価額の総額

- ・ 配当財産の種類：特許権・商標権・ドメイン・承継会社保有のフォントデータ
- ・ 帳簿価額の総額：4,203,901円

(ii) 配当財産の割当に関する事項

普通株式1株につき、21,019円51銭

6. 吸収分割会社に関する事項

(1) 最終事業年度に係る計算書類等の内容

分割会社は、有価証券報告書および四半期報告書を関東財務局に提出しております。最終事業年度に係る計算書類等については、金融商品取引法に基づく有価証券報告書

等の開示書類に関する電子開示システム（EDINET）よりご覧頂けます。

(2) 最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容

該当事項はありません。

(3) 最終事業年度末日後に生じた重要な財産の処分、重大な債務の負担その他の会社財産の状況に重要な影響を与える事象の重要な後発事象の内容

分割会社は、2023年7月19日、分割会社の連結子会社であったフォントワークスの全株式を Monotype(株)へ譲渡すること、およびフォントワークスの事業に係る無形固定資産を Monotype Imaging inc. に譲渡する契約を締結しました。詳細につきましては、分割会社の第36期第2四半期報告書をご覧ください。

## 7. 債務の履行の見込みに関する事項

(1) 吸収分割会社の債務の履行の見込みに関する事項

本件会社分割後の分割会社の負担すべき債務につきましては、履行期における履行の確実性に問題はないものと認識しております。

(2) 吸収分割承継会社の債務の履行の見込みに関する事項

本件会社分割において承継会社は一切の債務・負債を承継しないため、本件会社分割後の承継会社の負担すべき債務につきましては、履行期における履行の確実性に問題はないものと認識しております。

以 上

別添1 (吸収分割契約書)

(添付のとおり)

# 吸収分割契約書

S Bテクノロジー株式会社（以下「甲」という）およびフロントワークス株式会社（以下「乙」という）は、第1条に定める事業に関して甲が有する権利義務を乙に承継させる吸収分割（以下「本件会社分割」という）について、以下の通り吸収分割契約（以下「本契約」という）を締結する。

## 第1条（吸収分割）

- 甲は、本契約の定めに従い、本件効力発生日（第4条において定義する）付で、会社法が規定する吸収分割の方法により甲のフロントプラス事業（以下「本件対象事業」という）に関して有する第2条第1項所定の権利義務を乙に承継させ、乙はこれを承継する。
- 吸収分割会社（甲）および吸収分割承継会社（乙）の商号および住所は、それぞれ次のとおりである。
  - 吸収分割会社（甲）

商号：S Bテクノロジー株式会社  
住所：東京都新宿区新宿六丁目27番30号
  - 吸収分割承継会社（乙）

商号：フロントワークス株式会社  
住所：東京都港区北青山三丁目2番4号

## 第2条（承継する権利義務）

本件会社分割により乙が甲から承継する資産、契約その他の権利義務は、別紙1のとおりとし、別紙1に記載のない権利義務は承継しない。

## 第3条（分割対価の交付）

乙は本件会社分割に際し、乙が前条に基づき承継する権利義務の対価を支払わない。

## 第4条（効力発生日）

本件会社分割がその効力を生ずる日（以下「本件効力発生日」という）は、2024年4月1日とする。なお、本件会社分割の手の進行上の必要性その他の事由により必要があると認める時は、甲および乙が協議し合意の上、本件効力発生日を変更することができる。

## 第5条（分割承認決議等）

甲および乙は、本件効力発生日の前日までに、それぞれ、適法な機関における本契約の承認、債権者保護手続その他関連法令により必要となる手続を行うものとする。

## **第6条（会社財産の管理等）**

本契約締結後、本件効力発生日まで、甲は善良なる管理者の注意をもって本件対象事業にかかる業務の執行および財産の管理をし、本件会社分割に重大な影響を及ぼす事項を行おうとするときは、あらかじめ両社協議するものとする。

## **第7条（本契約の変更等）**

本契約締結の日から本件効力発生日までの間において、天災地変その他の事由により、本件対象事業または本件対象事業に関する資産、債務、雇用契約その他の権利義務に重大な変動が生じた場合、本件会社分割の実行に重大な支障となる事態が生じ若しくは明らかとなった場合またはその他本件会社分割の目的の達成が困難となった場合は、甲および乙は協議の上、本契約に定める本件会社分割の条件を変更し、または本契約を解除することができる。

## **第8条（本契約の効力）**

本契約は、本件効力発生日の前日までに第5条に定める甲および乙の適法な機関における本契約の承認ならびに関連法令に基づき要求される監督官庁等の承認を得られない場合、また前条に基づき本契約が解除された場合、その効力を失う。

## **第9条（本契約に定めのない事項）**

本契約に定める事項の他、本件会社分割に関し必要な事項は、本契約の趣旨に従い、甲および乙が協議の上定める。

## **第10条（適用法と管轄）**

本契約に関する解釈および紛争に対しては日本法を適用法とし、本契約に関連して甲乙間に生じる一切の紛争は東京地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とする。

（以下余白）

本契約締結の証として本書2通を作成し、甲乙記名捺印のうえ、各1通を保有する。  
または本契約締結の証として電磁的記録により本書を作成し、甲及び乙の合意を証する電  
磁的措置を施したうえ、各自その電磁的記録を保管する。

2024年1月31日

(甲) 東京都新宿区新宿六丁目27番30号  
SBテクノロジー株式会社  
代表取締役 阿多 親市

(乙) 東京都港区北青山三丁目2番4号  
フロントワークス株式会社  
代表取締役 原田 愛

## 承継対象権利義務明細

### 承継対象となる権利義務

1. 本件対象事業における顧客との契約
  - ・エンドユーザ利用契約
  - ・エンタープライズ・プランに応じて締結した契約
2. 本件対象事業における、フォントファウンダリーとの、別添の承継対象ライセンス契約一覧記載のライセンス契約（以下「承継対象ライセンス契約という」）
3. 本件対象事業で利用される顧客情報、仕入先情報および個人情報
4. 本件対象事業で利用される各帳票データ等（ひな型）

### 承継対象とならない権利義務

1. 潜在債務を含む一切の債務・負債

以上



別添（承継対象ライセンス契約一覧）

ファウンダリー名	契約名
株式会社 Fontrix	フォント使用許諾契約書
Monotype 株式会社	WEB SERVER LICENSE AGREEMENT (For Web Font Services” FONTPLUS” )
	ADDENDUM No. 1
株式会社イワタ	フォント使用許諾契約書
株式会社モトヤ	フォント使用許諾契約書
株式会社光伸プランニング	フォント使用許諾契約書
	契約上の地位の承継に関する覚書
株式会社 SCREEN グラフィックソリューションズ	フォント使用許諾契約書
	取扱書体に関する覚書
	取扱書体に関する覚書（2）
	取扱書体に関する覚書（3）
大日本印刷株式会社	フォント使用許諾契約書
	フォント使用許諾契約書
株式会社白舟書体	フォント使用許諾契約書
TOPPAN 株式会社	フォント使用許諾契約書
株式会社昭和書体	フォント使用許諾契約書
HOUSEI 株式会社	フォント使用許諾契約書
JungleSystem Co., Ltd	フォント使用許諾契約書
YoonDesign Group Inc	口頭による合意

別添2 (吸収分割承継会社の最終事業年度に係わる計算書類等の内容)

(添付のとおり)

# 第 30 期

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月31日

# 事業報告

フォントワークス株式会社

# 事業報告

〔 自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月31日 〕

## 1. 事業の概況

### (1) 事業の経過及び成果

当事業年度の業績は、売上高 1,946 百万円（前期比+9%）、営業利益 751 百万円（前期比+21%）、経常利益 755 百万円（前期比+22%）となりました。

基幹事業である LETS 事業（年間定額制フォントサービス）は売上高 1,635 百万円（前期比+9%）となり、全事業売上高の 84%を占めています。また、OEM・開発事業は大型案件の増加から売上高 161 百万円（前期比+20%）となりました。

売上原価は 447 百万円（前期比+6%）となりました。これは主に、技術部門社員増員に伴い労務費が増加したことによるものです。

販売費および一般管理費は 747 百万円（前期比+1%）となりました。これは主に、人員増による人件費の増加（6 百万円）、新規サービスリリースに伴う減価償却費の増加（12 百万円）、ウェブ広告の出稿増や雑誌タイアップ実施による広告宣伝費の増加（6 百万円）、研究開発活動の来期繰越し等による減少（19 百万円）によるものです。

以下、主要事業別の業績概況を報告いたします。

#### ① LETS 事業（年間定額制フォントサービス）

新規契約については、大型複数年包括契約の獲得や、2021 年 2 月にリリースいたしました新 LETS（ユーザライセンス型 LETS）販売が堅調に推移し、売上高 607 百万円（前期比+35%）となりました。

更新契約については、現行 LETS から新 LETS への切替えが主流となっているため、通期売上高は 1,028 百万円（前期比△1%）となりました。

#### ② OEM・開発事業

ソフトウェアへの搭載案件や、ゲーム等の大型案件増加の影響から、通期売上高は 161 百万円（前期比+20%）となりました。

③ パッケージ事業

アドビ株式会社が提供するフォントサービスに、当期は6書体の追加提供を行い、売上の拡大に繋がりました。また北京北大方正電子有限公司社との提携にて、中国国内で販売を行っております当社書体も売上を維持し、売上高21百万円（前期比+28%）となりました。

④ mojimo 事業（年間定額制フォントサービス/書体数限定）

今期は1パックの新規リリースを行いました。またリリース5周年記念企画の実施や、更新契約の順調な推移により、売上高51百万円（前期比+5%）となりました。

⑤ FONTPLUS 事業

クラウド型ライセンス販売は堅調に推移いたしました。オンプレミス型ライセンス販売についても各種大型案件の継続契約を順調に受注することができたことから、通期売上高73百万円（前期比△0%）となりました。

(2) 対処すべき課題

既存の印刷・出版業界から、デジタル・IoT業界およびAR/VR環境への市場移行は加速しており、魅力的な書体の開発に留まらず、様々な利用媒体・利用環境における再現性を提供する製品開発が急務となっております。

当社では、フラグシップフォントである筑紫書体、その他に魅力的な日本語フォントを提供する他、戦略的アライアンスによる多言語フォントの拡充、さらにはフォント軽量化ツール、多言語対応、ユニバーサルデザイン、各種拡張製品等の開発・リリースを通じ、競合製品に対する優位性を高めてまいります。

併せて、2021年より販売を開始した新 LETS の魅力を様々な媒体を通じて発信し、さらなるシェアの拡大、事業の成長を強く推し進めてまいります。

(3) 設備投資の状況

当期中に実施した設備投資等の主なものは次のとおりとなります。

① 当期中に取得したソフトウェア（仮勘定含む工事ベース）	128,307千円
② 当期中に取得した建物附属設備	4,819千円
③ 当期中に取得した器具備品	5,148千円

(4) 資金調達の状況

該当事項はありません。

(5) 財産及び損益の状況

区 分	第26期	第27期	第28期	第29期	第30期
	自 2018年 4月 至 2019年 3月	自 2019年 4月 至 2020年 3月	自 2020年 4月 至 2021年 3月	自 2021年 4月 至 2022年 3月	自 2022年 4月 至 2023年 3月
売 上 高 (千円)	1,536,536	1,671,966	1,701,304	1,775,273	1,946,530
経 常 利 益 (千円)	618,640	742,360	715,458	619,327	755,564
当 期 純 利 益 (千円)	405,052	482,904	467,990	416,140	522,407
1 株 当 たり 当 期 純 利 益 (円)	2,025,262	2,414,523	2,339,951	2,080,702	2,612,036
総資産 (千円)	2,402,902	2,790,779	3,322,453	3,726,413	4,272,326
純資産 (千円)	1,894,065	2,376,970	2,844,960	3,281,289	3,803,697
1 株 当 たり 純 資 産 額 (円)	9,470,328	11,884,852	14,224,803	16,406,449	19,018,485

- (注) 1. 1株当たり当期純利益は、期中平均株式数に基づき算出したものであります。  
2. 1株当たり純資産は、期末発行済株式数に基づき算出したものであります。  
3. 金額は1株当たり当期純利益、1株当たり純資産額を除いて、千円未満の端数を切り捨てて表示しております。  
4. 金額には消費税等を含んでおりません。

2. 会社の概況(2023年3月31日現在)

(1) 主要な事業内容

① LETS事業 (年間定額制フォントサービス)

業界に先駆けてスタートした年間契約制のフォントライセンス商品を販売しております。他社が追随できないプログラム内容や書体品質・価格設定等で、幅広い業界・業種を対象に自社フォントの他、パートナーメーカーのフォント提供も行っております。

## ② OEM・開発事業

顧客ニーズに合わせてカスタマイズする組込フォントやOEM書体開発を行っております。高品位の書体デザインと高い技術のトータルソリューションを提供し、他社に比べ後発の事業ながら、多数の企業製品に採用実績があります。

## ③ パッケージ事業

自社フォントのパッケージ製品販売を行っております。特定の書体のみを希望するユーザーや小規模顧客等をターゲットとし、LETS事業とは差別化したフォント提供を行っております。

## ④ mojimo事業

特定の用途・シーンにマッチした特選書体ライセンスを年間定額かつ少額で販売しております。当期は既存のパックに追加で3書体を選択して利用ができる、新たな形態のサービス「mojimo-plus」の提供を開始いたしました。今後も様々なニーズに対応できるようリリースを続けてまいります。

## ⑤ FONTPLUS事業

SBテクノロジー株式会社が運営するwebフォントサービス「FONTPLUS」に当社書体を提供しています。

## (2) 主要な営業所及び工場

事業所名	所在地
本社	東京都港区北青山3丁目2番4号
Fukuoka Creative Lab	福岡県福岡市博多区上川端町13番15号

## (3) 株式の状況

- ①発行可能株式総数 800株
- ②発行済株式の総数 200株
- ③当期末株主数 1名
- ④株主の状況

株主名	当社への出資状況		当社の当該株主への出資状況	
	持株数	持株比率	持株数	持株比率
S B テ ク ノ ロ ジ ー ( 株 )	株	%	株	%
	200	100	—	—

(4) 従業員の状況

従業員数	前期末比増減	平均年齢	平均勤続年数
58名	4名増	39.1歳	5.8年

(注) 従業員数には、出向社員および臨時雇用者は含まれておりません。

(5) 重要な親会社および子会社の状況

① 親会社との関係

会 社	資本金 (百万円)	親会社 の持株 比率	親会社 持株数	同社との関係
SBテクノロジー(株)	1,270	100%	200株	短期資金貸付及び FONTPLUS 事業における書体の提供取引があります。

②重要な子会社の状況

会 社	資本金 (百万円)	子会社 の持株 比率	子会社 持株数	同社との関係
(株) インテグラル・ヴィジョン・グラフィックス	10	90%	540株	CG技術の提供を受け、フォントの可読性等について共同研究を行っております。

(6) 主要な借入先 (2023年3月31日現在) (千円)

当社は、借入を行っておりません。

(7) 当社の会社役員 の状況 (2023年3月31日現在)

会社における 地位および担当	氏 名	重要な兼職の状況
代表取締役社長CEO	原 田 愛	
取 締 役 C O O	佐 藤 雅 巳	
取 締 役	阿 多 親 市	SBテクノロジー(株) 代表取締役社長CEO
取 締 役	佐 藤 光 浩	SBテクノロジー(株) 取締役副社長執行役員CSO



取締役	岡崎正明	SBテクノロジー（株）取締役常務執行役員CFO
取締役	正岡聖一	SBテクノロジー（株）上席執行役員CCO人事本部長
監査役	松本隆	SBテクノロジー（株）財務経理部プリンシパルコンサルタント

(注) 1. 非業務執行取締役である 阿多親市氏、佐藤光浩氏、岡崎正明氏、正岡聖一氏、および監査役 松本隆氏との間で、会社法第423条第1項に定める損害賠償責任を限定する契約を締結しております。

締結日：平成27年6月11日 佐藤光浩氏、松本隆氏

締結日：平成29年4月17日 阿多親市氏

締結日：平成29年4月24日 正岡聖一氏

締結日：令和3年8月18日 岡崎正明氏

#### (8)取締役及び監査役に支払った報酬等の額

区 分	支給人員	報酬等の種類別の総額（千円）			
		基本報酬	業績連動報酬等 (役員賞与)	非金銭報酬等	計
取締役	2名	26,730	△536	—	26,194

(注) 1. 業績連動報酬等には、前期末における役員賞与引当金14,040千円と当期の実際支給額5,500千円との差額である△8,540千円が含まれております。

(注) 本事業報告中に記載の金額は表示単位未満を切り捨てて表示しております。

第30期

# 決算報告書

2022年 4月 1日から  
2023年 3月31日まで

東京都港区北青山3-2-4

フロントワークス株式会社  
(法人番号:7290001010129)

貸借対照表

(2023年 3月31日現在)

(単位:千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,415,742	流動負債	380,013
現金及び預金	555,828	買掛金	49,516
売掛金	391,049	未払金	66,586
棚卸資産	6,914	未払法人税等	148,856
前払費用	58,487	前受金	13,720
短期貸付金	2,401,800	預り金	1,811
未収入金	1,662	賞与引当金	60,504
固定資産	856,583	役員賞与引当金	8,004
有形固定資産	220,481	未払消費税	31,013
建物付属設備	221,636	固定負債	88,615
器具備品	144,148	長期未払金	4,287
減価償却累計額	△ 145,303	退職給付引当金	55,691
無形固定資産	407,757	預り保証金	10,000
ソフトウェア仮勘定	69,849	資産除去債務	18,635
ソフトウェア	332,491	負債合計	468,628
商標権	4,374	(純資産の部)	
電話加入権	1,043	株主資本	3,803,697
投資その他の資産	228,344	資本金	120,000
入会金	120	利益剰余金	3,683,697
敷金	65,744	その他利益剰余金	3,683,697
長期貸付金	750	繰越利益剰余金	3,683,697
長期前払費用	1,177		
長期繰延税金資産	47,056		
貸倒引当金	△ 4		
投資有価証券	113,500	純資産合計	3,803,697
資産合計	4,272,326	負債及び純資産合計	4,272,326

損益計算書

(2022年 4月 1日から2023年 3月31日まで)

(単位:千円)

科 目	金 額	
売上高		1,946,530
売上原価		
期首棚卸高	4,327	
当期商品仕入高	165,464	
当期製品製造原価	301,455	
他勘定振替高	△ 17,984	
合 計	453,263	
期末棚卸高	5,800	447,463
売上総利益		1,499,067
販売費及び一般管理費		747,552
営業利益		751,515
営業外収益		
受取利息	3,684	
雑収入	1,234	4,918
営業外費用		
為替差損	353	
雑損失	515	868
経常利益		755,564
税引前当期純利益		755,564
法人税、住民税及び事業税	242,845	
法人税等調整額	△ 9,687	233,157
当期純利益		522,407

# 第 30 期

自 2022年 4月 1日  
至 2023年 3月31日

## 計算書類に係る附属明細書

フォントワークス株式会社

## 目 次

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細 .....	3
2. 引当金の明細 .....	3
3. 販売費および一般管理費の明細 .....	4

1. 有形固定資産及び無形固定資産の明細

(単位:千円)

区分	資産の種類	期首 帳簿残高	当期 増加額	当期 減少額	当期 償却費	期末 帳簿価格	減価償却 累計額	期末 取得原価
有形 固定 資産	建物附属設備	161,718	4,819	—	15,364	151,172	70,464	221,636
	工具器具備品	80,037	5,148	—	15,877	69,308	74,839	144,148
	計	241,755	9,967	—	31,242	220,481	145,303	365,785
無形 固定 資産	ソフトウェア	367,932	86,511	—	121,952	332,491		
	ソフトウェア 仮勘定	28,052	126,043	△84,247	—	69,849		
	商標権	5,056	—	—	681	4,374		
	電話加入権	1,043	—	—	—	1,043		
	計	402,084	212,554	△84,247	122,634	407,757		

当期増加額の主な内容は次のとおりです。

資産の種類	内 容	金 額
工具器具備品	業務用PC	5,148 千円
ソフトウェア	新LETS (フェーズ3.0) 構築費用	41,022 千円
ソフトウェア	FONTPLUS OCI移行費用	11,680 千円
ソフトウェア	書体ランディングページ制作費	8,096 千円

2. 引当金の明細

(単位:千円)

区分	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
貸倒引当金(短期)	—	—	—	—
貸倒引当金(長期)	15	—	10	4
賞与引当金	56,909	60,504	56,909	60,504
役員賞与引当金	14,040	8,004	14,040	8,004
退職給付引当金	48,971	7,908	1,188	55,691

## 3. 販売費および一般管理費の明細

(単位:千円)

科 目	金 額	摘 要
給料	140,177	
役員報酬	26,730	
従業員賞与	45,949	
役員賞与	5,500	
賞与引当金繰入	2,491	
役員賞与引当金繰入	△6,036	
退職給付引当金繰入	7,908	
法定福利費	30,024	
福利厚生費	5,808	
募集費	16,521	
研修費	444	
派遣費用	23,555	
有形固定資産減価償却費	31,242	
無形固定資産減価償却費	122,634	
資産除去債務利息費用	3	
荷造運賃	1,092	
広告宣伝費	12,924	
販売促進費	23,349	
銀行手数料	607	
支払手数料	17,671	
業務委託費	45,942	
支払報酬	3,539	
旅費交通費	2,595	
諸会費	290	
会議費	150	
交際費	330	
調査費	24	
事務用品費	44,533	
地代家賃	81,064	
リース料	13	
水道光熱費	3,761	
通信費	27,539	
保険料	1,859	
租税公課	18,278	
修繕維持費	5,451	
寄付金	125	
研究開発費	335	
雑費	3,127	
貸倒引当金繰入(一般販管)	△10	
計	747,552	



# 株主資本等変動計算書

自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

(単位：千円)

	株主資本				純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本 合計	
当期首残高	120,000	—	3,161,289	3,281,289	3,281,289
当期変動額					
当期純利益	—	—	522,407	522,407	522,407
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）	—	—	—	—	—
当期変動額合計	—	—	522,407	522,407	522,407
当期末残高	120,000	—	3,683,697	3,803,697	3,803,697

# 個別注記表

自 2022 年 4 月 1 日 至 2023 年 3 月 31 日

## I. 重要な会計方針にかかる事項に関する注記

### 1. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式を採用しております。

### 2. 税効果会計の適用

法人税、住民税及び事業税について税効果会計を適用しております。

### 3. 会計方針の変更

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第 31 号 2021 年 6 月 17 日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。）を当事業年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第 27-2 項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、計算書類に与える影響はありません。

## II. 株主資本等変動計算書に関する注記

### 1. 発行済株式総数 200 株

## III. 一株当たり情報に関する注記

1. 一株当たり純資産額は、19,018,485.23 円であります。

2. 一株当たり当期純利益は、2,612,036.09 円であります。

2023年5月23日

フロントワークス株式会社  
代表取締役社長 原田 愛 殿

監査役 松本 隆

### 監査報告書の提出について

私監査役は、会社法第381条第1項の規定に基づき監査報告書を作成しましたので、別紙のとおり提出いたします。

以上

# 監査報告書

私監査役は、2022年4月1日から2023年3月31日までの第30期事業年度の取締役の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

## 1. 監査の方法及びその内容

私監査役は、取締役及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、取締役会その他重要な会議に出席し、取締役及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、本社において業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表、損益計算書、株主資本等変動計算書及び個別注記表）及びその附属明細書について検討いたしました。

## 2. 監査の結果

### (1) 事業報告等の監査結果

- ①事業報告は、法令及び定款に従い、会社の状況を正しく示しているものと認めます。
- ②取締役の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

### (2) 計算書類及びその附属明細書の監査結果

計算書類及びその附属明細書は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年5月23日

フロントワークス株式会社

監査役 松本 隆



別添3 (吸収分割承継会社の最終事業年度の末日後の日を臨時決算日とする臨時計算書類等の内容)

(添付のとおり)

第31期

# 臨時計算書類

2023年 4月 1日から  
2023年 6月30日まで

東京都港区北青山3-2-4

フロントワークス株式会社  
(法人番号:7290001010129)

臨時貸借対照表

(2023年 6月30日現在)

(単位:円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	3,546,166,030	流動負債	290,797,687
現金及び預金	731,738,059	買掛金	48,419,622
売掛金	271,874,623	未払金	68,669,776
棚卸資産	7,455,577	未払法人税等	70,589,700
前払費用	61,183,925	前受金	23,119,246
短期貸付金	2,471,800,000	預り金	12,052,303
未収入金	2,073,846	賞与引当金	28,671,380
預け金	40,000	役員賞与引当金	2,001,000
固定資産	740,635,159	未払消費税	37,274,660
有形固定資産	216,362,422	固定負債	91,015,072
建物付属設備	221,636,844	長期未払金	4,287,088
器具備品	147,944,839	退職給付引当金	58,091,249
減価償却累計額	△ 153,219,261	預り保証金	10,000,000
無形固定資産	388,835,632	資産除去債務	18,636,735
ソフトウェア仮勘定	29,005,934	負債合計	381,812,759
ソフトウェア	354,582,573	(純資産の部)	
商標権	4,203,901	株主資本	3,904,988,430
電話加入権	1,043,224	資本金	120,000,000
投資その他の資産	135,437,105	利益剰余金	3,784,988,430
入会金	120,000	その他利益剰余金	3,784,988,430
敷金	65,674,600	繰越利益剰余金	3,784,988,430
長期貸付金	300,000		
長期前払費用	643,901		
繰延税金資産	68,700,403		
貸倒引当金	△ 1,800		
投資有価証券	1	純資産合計	3,904,988,430
資産合計	4,286,801,189	負債及び純資産合計	4,286,801,189

フロントワークス株式会社

臨時損益計算書

(2023年 4月 1日から2023年 6月30日まで)

(単位:円)

科 目	金 額	
売上高		600,785,129
売上原価		
期首棚卸高	5,800,313	
当期商品仕入高	62,936,778	
当期製品製造原価	76,062,726	
他勘定振替高	△ 3,006,033	
合 計	141,793,784	
期末棚卸高	6,341,179	135,452,605
売上総利益		465,332,524
販売費及び一般管理費		210,044,284
営業利益		255,288,240
営業外収益		
受取利息	1,120,901	
雑収入	1,152,094	2,272,995
経常利益		257,561,235
特別損失		
子会社株式評価損	113,500,359	113,500,359
税引前臨時期間純利益		144,060,876
法人税、住民税及び事業税	64,413,300	
法人税等調整額	△ 21,643,808	42,769,492
臨時期間純利益		101,291,384



## 臨時計算書類に係る監査報告書

私監査役は、2023年4月1日から2023年6月30日までの臨時会計年度に係る臨時計算書類（臨時貸借対照表及び臨時損益計算書）を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

### 1. 監査の方法及びその内容

私監査役は、臨時計算書類について取締役及び使用人等から報告を受け、必要に応じて説明を求めました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行いました。

### 2. 監査の結果

臨時計算書類は、会社の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

2023年7月14日

フロントワークス株式会社

監査役 松本 隆

松本 隆